

項番	議題	主なご意見	対応方針
1	次期府中市環境基本計画の策定について	口頭のみで文書としては表現されていない部分が数カ所あったように思う。一番気になったのは、資料4の一番頭の「策定の背景」。 口頭で東京都の動向についての説明があったが、文書中ではその表現がない。 そのまま読んだだけでは理解できないのでその辺も加えて補正しておいたほうが良いのでは。	記述部分については修正させていただき、先日送付させていただいたところ、特にご指摘等ありませんでしたので、修正案で公表を行います。
2		資料4の2ページ目(計画体系図)、この記載で分かる人はほとんどいないのでは。 計画体系図のところ、総合計画からこのように矢印が来ているが、現在総合計画は策定中で、昨年11月か12月ぐらいに事務局から報告はされているが、ここにいる委員でそのことについて知っている人は少ないと思われる。「どうにかたちで策定されようとしているのか」、「こういうところはそのままで使いたい」、「これはその後の状況で新しい展開があるので取込んでいきたい」などを、次回までに出してほしい。 例:地球温暖化について46%削りたいということは比較的最近政府から出てきた状態で、昨年11月、12月にはまだ出ていなかった数字	本計画についてそれぞれ関連する計画がありますが、それぞれの計画とすべて整合性を図った計画とすることは困難かと考えております。 できる限り、現在計画期間中であるような内容や、次期計画で検討している内容については最新の情報があれば可能な限り会議の中で提供させていただきます。
3		関連の諸計画、一部は既にできあがっていて当分変わらないもの、現在作っている最中のもの、できたばかりなので今さら変えようがないものなどがあるので、注記か何かでそれを出してほしい。 皆さんが(審議会を)やる時、どのように意見を言えば良いのかがこれだけでは分かりにくい このまま検討するのであれば、どこかで注記を書くなどの対応が必要ではないか。	関連計画の策定状況を整理し、第2回審議会でご参考資料としてお示しします。
4		資料4の1の2行目 国家戦略については、今のところ今年度末に策定予定という動き。 東京都でも国家戦略の策定に合わせて策定をしていくということで公にしているところであり、よって遅くとも来年度、令和4年度ぐらいには策定することになるとされる。 ここでは「令和4年度を目途に」というふうに明確に書かれているので、できればあまり明言していただかないほうが良い。	記述部分については修正させていただき、先日送付させていただいたところ、特にご指摘等ありませんでしたので、修正案で公表を行います。
5		資料4の1ページ目「策定の背景」は実際重要なので、東京都が進めている計画等、他の計画がよく分かるようにしていただければと思う。	計画(骨子)の段階から、留意して作成させていただきます。
6		どなたが臨時委員なのかということがわかる名簿を頂きたい。	第2回審議会資料より記載させていただきます。
7		専門委員は、専門家として審議に参加していただくため専門委員のほうが良いのではないかと。臨時というと、パートタイムのように受け取れる語感の問題もある。その辺は、受ける側のご都合も聞きながら決めていただきたい。	臨時委員という表現は、府中市環境基本条例で定めており、「特別の事項を調査し、及び審議するため必要があるときは、審議会に臨時委員を置くことができる」と定めています。これは、府中市附属機関の設置等に関する条例と表現を統一したものであることから、臨時委員と表記させていただきます。
8		生物多様性にしても地球温暖化にしても、問題の内容によってはフィールドワークが必要だろうと想像するが、フィールドワークなどは考えているのか。	生物多様性部会については、フィールドワークを2回程度用意させていただきます。

9	府中市環境審議会の日程について	(会議の開催回数と時間、本会議と部会の同日中開催などについて)参加する委員さんごとにお仕事等の都合などいろいろなパターンがあると思うので、その辺の(事情を汲むための)調整を事前にしていただけるのか。	
10		日程調整の仕方について。なるべく先まで決めてほしい。直前に日にちを決めるのではなく、1年を通して決めていただきたい。部会と合わせるかどうかについては、事務局で話をすれば良いと思う。	可能な限り早めに日程を提示させていただきます。
11		日程が書いていないため、いつ頃やるかについては候補日はこの辺であるなどをいただいていたほうが良いかなと思う。	
12	アンケート調査案について	前回は(回答率が)27.4%で、3割を切っている社会調査というのはほとんど意味がないように個人的には思う。また、一般市民向けの無作為はあったとしても、事業者にも色々な事業者があるので、無作為というのはよく分からない。	WEBでのアンケート回答に対応することで、回収率を高めたいと考えております。事業所アンケートは、府中市の業種割合に応じた無作為抽出とさせていただきます。なお、市民アンケートも年齢層や男女比に応じた層別無作為抽出としています。
13		アンケートを少し拝見したところ、十何項目もあるため、お忙しい方などは答えたくないのではと思う。経験則として項目が増えれば増えるほど回収率は落ちていく。アンケートの構成を見ると、温暖化、次に生物、また温暖化に戻ると、内容が散らばっている。せっきく部会で分けているので、温暖化と生物多様性のアンケートは分けてしまっても良いのでは。	現状は、環境に関する事項の認知度や環境への満足度等→行政への要望や望ましい環境像といったような流れとしていました。ご意見踏まえて、分野ごとのアンケート(案)も作成させていただきました。
14		再生可能エネルギーなどの取組に重点が置かれた内容になっている気がする。しかし本当に温暖化を考えるのであれば、ウッドマイレージを減らすなど、食料もだが、そういったところ(輸送を減らす・地産地消ということ?)を見ていくべきでは。そうすると(アンケートの)内容を精査したほうが良いという他の方の意見には賛成である。	
15		背景はあるのだが、基本計画の「府中市はこういうふうにしていきたい」を最初に示すべき。他の町村も同様になっている。	
16		他の委員の意見への補足として、アンケートを書いてもらうために「こういうことを府中市は考えていますが、それについて市民の皆さんのご意見を聞きたいです」というのがふつうの聞き方だと思う。少なくとも素案のような文章があり、ここでオーソライズされたものを頭につけようという議論になるべきではないか。	本日の会議で、アンケートの目的や実施時期についてご議論いただき、再度アンケート調査内容もご議論いただいたうえで、対応させていただきます。
17		質問項目が増えると大変だというのが、今は選択肢が全然ない状態。現在の状況にそぐわない質問内容ではまとめようがない、着地点が見えない。	
18		(他の委員の意見に同調し)アンケートは理念がなければ答えようがないのでは。潮流は潮流としてわかるが、質問項目、質問の仕方によって動かされてしまうと思う。コンサルの方もいるのでよく検討して欲しい。これからの環境都市府中を作っていく上でこれを基礎にするには…という疑問がある。	
19		前回のアンケートの内容は、アンケートを出す人の意識調査のような感じ。市はこういう方向に進んでいくが、それをどう考えているか、市民が何を求めているかという問い掛けのほうが良いのではないか。それを引き出しやすい設問の仕方が大事ではないか。	
20	その他	初めに事務局の方に自己紹介していただいたが覚えられない。名簿ほど大げさなものでもなく、情報が分かるようなものをいただければと思う。	議事録において、お示しさせていただきます。